夕刊
いわき民報
発行所
平市田町 電176 381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

政府第八回三色短期
百萬圓
宝くじ
抽せん
迫る！
抽せん 9月13日
場所 東京都
日本勧業銀行平支店

二百廿日も平穏

○…第二の厄日二百二十日が明十二日に迫つた、小名浜測候所の話では気圧配置はすつかり秋型となり十二日は秋晴れのよい天気で目下のところ台風らしいものは全然天気図には姿を見せていないから此処当分は平穏無事に経過するだろうと云う

○…特に十日夜から降り出した雨は十一日正午現在十八・五ミリ（坪当り三斗四升）で電力事情の緩和、畑作への慈雨など文字通り一滴千金の雨として関係者を喜ばせた

○…此処当分の天気は…秋の空…にふさわしく三日目毎に降雨をもたらす三日周期の天候が続く見込みでこの分で行くと今年のキノコは順調な降雨で当り年となる見込み

山崎前町長 準町葬に

内郷町會決定

内郷臨時町会は十日午後三時から開き八日脳溢血のため急逝した前町長山崎辰亥氏の告別式に就き審議した結果十二日午後二時から同町宮瑞芳寺に準公葬で執行することになり、二十六年度追加更正予算十六万五千円（当初予算九千百十四万七千三百八十一円）は次回で審議することになり午後四時閉会した

植田町會

植田町々会は十日午前九時より開催、当初協議会を開いて左の条件を審議

一、保育所新設敷地及び公営住宅新設敷地選定に関しては一切渡辺町長に一任

一、町警察廃止に伴う警察署員に対する慰労の方法については一人当り一カ月分、又公安委員に対しては記念品を贈る

一、独立公民館設置請願書の審査及び措置について

一、植田町警察署跡に植田町診療所移転の件

を一括協議、廃止後の町警察署建物は公民館にして欲しいと八百余名の署名運動が起り、又診療所にして欲しいとの署名嘆願もあり、論戦の結果一時保留の形となつた 尚現在の町経営診療所は毎月赤字に悩み立直し策として現診療所長の安斎博士に一切の経営を委ねる事に内定し十月一日より継承、佐糠の農耕橋梁改修及び南上町附近に巡査派出所の設置と平保健所の分室誘致運動に着手する事また営林署苗圃誘致運動を起すこととし午後三時本会議に移り案件を一気に可決閉会した

約三百の會員集り

縣醫師會 學術大會開く

廿三日 沖中、大井兩教授も講演

医学の向上発展を目ざす県医師会学術大会は石城医師会主催、平医師会協力で来る廿三日午前八時から平市労働会館に開催されるが、会員の研究発表は三十二題、当日は東大沖中教授、慈恵医大大井教授を招き特別講演もある筈で出席会員約三百を予想され非常な盛況を予想されている、なお終つて翌廿四日は炭鉱見学と小名浜の海上遊覧をする

江名も自警廢止決定

江名町自治警察存続に関する住民投票は十日行い開票の結果、廃止賛成一、五三〇、存続四五五で廃止と決定した、有権者数は五、六九〇、投票数二、〇〇四で投票率三六・九%という不振ぶりであつた

サンマ解禁日で陳情

廿日には出漁の形勢

サンマ解禁日繰り上げについての内地側の会議は去る六日東京都参院会館に開かれたが農林省側は省令通り十月一日を固執して意見が通らなかつた、これに対して本県では十日午前十時から県水産事務所に今後の対策協議会を開いた結果十五日に農林大臣に陳情する事に決定、漁連会長鈴木常松氏、江名底曳組合長小松惣次郎氏らが代表として十四日上京する、然し業者は今度の陳情でサンマ操漁解禁日が変更にならなくとも来る二十日一齊に自由操漁する形勢である

助役收入役

錦町で決定

錦町々会は十日開催し助役、収入役推薦の件を上程、助役には助川庄次、収入役には渡辺保孔両氏に確定近く就任する

山崎氏寄附

故前町長山崎辰亥氏令息内郷町宮山崎定雄さんは故人の遺志で十一日町小中学校七校に各二千円、民生事業助成会五千円、消防団五千円、宮消防団千円をそれぞれ寄附した

前内郷町長山崎辰亥儀病気療養中のところ九月八日午後四時永眠いたしました 生前の御厚誼を謝し謹んでお知らせ申上げます
追つて告別式は九月十二日午後二時より当町宮瑞芳寺において準公葬をもつて執行いたします
昭和二十六年九月十日
葬儀委員長 **沼田一夫**
施主 **山崎定雄**
山崎廣
友人総代 **蓮沼龍輔**

養蜂組合

役員を決定

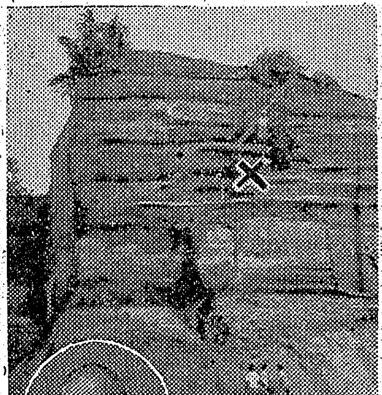
石城養蜂組合では十日午後一時から平市大町大東無尽に開き役員を次の通り決定した

組合長大宅嘉久治、副組合長明智忠作、同木村嶺、技術部長園部一巳、顧問根内守（石城地方事務所経済課長）同関場和一（市農務課長）

植田の評價委員

植田町の資産評価委員は左の三氏を推薦に決定した村松鎮節、佐藤丑太郎、安島利景

崖が崩れ人夫即死



十日午前十時半ころ内郷町小島字作田六九専売公社敷地埋立工事に作業中の川徳事業部切崩し現場で内郷町小島字下ノ内二九農臨時夫坂本菊一さん（四〇）は作業中約一リューベ程の岩石が崩れ落ち突き飛ばされて肋骨を強打され即死した 一週間程前から臨時夫として働いていたもの（写真は切崩し現場の崩れ落ちた場所（×印）円内は死亡した坂本菊一さん）

錦町評價委員

錦町の資産評価委員は十日の町会で左の三氏が推薦された 根本文一、坂本金作、金成作太郎

山崎辰亥氏（前内郷町長）

脳溢血のため八日仙台滞在中死去七十二才、告別式は十二日午後二時より同町宮瑞芳寺にて準公葬 同氏は内郷町出身、磐城炭鉱二十七年勤続労務係長より方面委員四期を経て昭和二十二年四月町長に選ばれ二十六年四月満期退職地方自治の功労者であつた

天気予報 十一日

【今晩】東のち南東の風曇時々小雨遅くなつて晴間出る

【明日】西よりの風よい天気、海上沖合は西の風や、強く風波高まる事あるが大した事はありません

想うまゝ

水道問題の考察

野澤むさし

平上水道問題については、かくいう筆者も市会議員の一人であるため、多少責任が伴うことにもなり、軽々しく論ずる訳には行かない。然し、好間村から要求されている水の使用料と称する四十何万円かの要求や、この要求された責任が革新会にあるが如き悪宣伝など、真相の究明と、鎌田山上水道計画が平市民にとつて最高のものであるかどうか？このような批判は新聞記者として当然許される範囲であると信ずる。

終戦以来平市内の水道用水がグツト減じた。殊に夏期の水不足は市民の台所を困ばいさせているのが現実である。従つて現状を打開させ、用水を豊富にすることが市理事者に課せられた重要な委任事項である。唯、どのような方法に依つて水圧を高めるか、これが理事者の考え方である。前市長は再三ろ過池を修理したが遂にサジを投げ、弐千万円の巨費を投じて鎌田山に伏流式上水道を計画、現理事者がこれを継承、折角工を急いでいる。順調に進めて完成するのが来年の九月頃と見られているようだ。水不足を解決する鎌田山上水道計画は決して悪いことではない問題は夏井川の河底から動力ポンプで水を吸い上げ、これをろ過もしないで飲用にするのがよいかどうかという事である。他の都市で行っている伏流式水道の例を見てもポンプ操作がむずかしい、動力も予備を加えて二台据えつけているようだが、停電とか動力故障の場合甚だ危険がある。夏井川の水質にも多少の不安がある。片倉磐城製糸の製品は、輸出品として国内でも最優秀の折紙がつけられている。この原因が優良用水に依るもので夏井川の伏流水を用いる場合遜色することを今から憂慮されているとも聞く。

此処で考えられるのが、鎌田山上水道を計画する際、自然流下のしかも全国的に水質を誇る好間川の導水を何故に考えなかつたかということである。今更云っても愚痴になるが、二千万円の巨費を投ずるつもりなら、江筋の用水路を用いず、この半分の費用で本流から直接取水も可能であつた。昭和五年計画された拡張工事で、将来に備え四・三個の導水管を施設してあるし、上野原の貯水池にも広大な用地を買収して今日の水不足に備えてあるのである。折角先輩諸公が考えた導水管や貯水池用地も、鎌田山に上水道を計画した為無駄に成つて了つた。経済的には勿論であるが、優良な自然流下水を飲料に出来ない点、前の理事者に愚痴をこぼしたく成るのは筆者のみではあるまい。

更に疑問に思うのは好間村から要求されている水の料金四十三万余円也である。大正十五年七月十日付の好間村長並に各堰組合代表と平町長の契約書第二項に

『各堰役の補償として毎年五百円也を其の年の十二月二十日を期日として各堰代表者好間村長に支払うものとす、但し一秒間二立方六分以上の水量を要する場合は本項の例にならい協定するものとす』

と明示されている通り、市の五百円也は水の使用料でなく堰役の負担金である。水量を増す場合協定すると明記してあるのに、一方的に過去の水代まで請求するのは当を得ていないし、現実に即し今後の問題を協定することは必要であろう。四・三個の契約問題についても、一部市民（革新会）が撒布した文書に対し、市当局に責任を追求することも妥当を欠いている直接その責任者を詰すべきであろう。四・三個の契約書は何処を捜しても発見されない。革新会の発表が誤りだということになる然し平市四・三個の施設を為した昭和五年に、好間村側と何等の交渉を行つていないであろうか？当時拡張工事に参画した多くの人々が〃契約書は紛失した〃と疑問を抱いていることも、一応うなずける問題である。

祝 小名濱機船底曳網漁業協同組合製氷工場新築落成 9月12日

製氷工場 竣工御挨拶

近代漁業の経営と製氷は不可分でありこれが漁業の盛衰を左右して居りますが、当地の製氷能力は需要量の半ばにも満たぬ現状で年間六千トン内外の氷を他地区に依存して居り、このため漁業者の受ける不利益と不便は誠に大なるものでありましたが、当組合は組合員総意に基き安価な氷を供給して漁業経営好転の一助に役立たしめ、又延いては廻船誘致に一役を買い町の繁栄にも寄与したいとの念願より本年五月製氷工場建設に着手致しました、幸い各界より絶大なる後援と殊に県経済部並に金融界よりの御厚意を辱うし計画を完遂し得るに至りました、尚本建設については建築は宇都宮市馬上建設株式会社、製氷機械類は東京都中須製作所に依頼致しました処、非常なる努力に依り極めて能率的に而も迅速に建設出来ました事は組合員と共に深甚の感謝を表する次第であります、将来とも何卒一層の御援助と御鞭撻を賜わりたく御願申上げます

小名濱機船底曳網漁業協同組合
組合長 田島繁夫

建設委員
建設委員長 田島繁夫
高木嘉一郎
庄司林太郎
馬上正美
齊藤誠吾
永山辰之助
馬上増次郎
田中常太郎
野崎武一
高津忠治

小名浜機船底曳網漁業協同組合製氷工場
建設施行者
馬上建設株式會社
取締役社長 馬上鉄雄
担当技師 木田敦
本社 宇都宮市西原町二、九一〇
電話二、五六七番

小名浜機船底曳網漁業協同組合
製氷貯氷設備施行者
株式会社 中須製作所
取締役社長 中須守夫
担当技師 引地新四郎
本社 東京都千代田区丸の内三菱仲十四号館
電話丸の内 一七九六番
日本橋 三三〇五番

小名濱漁業協同組合
組合長 三代鑑勝

小名濱銀行團
常陽銀行小名浜支店
東邦銀行小名浜支店
七十七銀行小名浜支店

濱通製氷冷凍協議會
会長 内田正男

最高二年から四月
隨行者に執行猶豫を要望
分離組に溫情の求刑

十日の平事件分離第一組午後の公判は十二時四十分再開、満廷の注目を一身にあびた高橋主任検事が立つて『意見を陳述する』と論告に入り、高橋、三浦、鈴木三検事が交互に読みあげる論告文に二十九被告は一心に耳をかたむけた、論告は掲示板問題から事件がおきた事は明白であることからときおこし更に事件当日平市署内外で暴徒が乱暴ろうぜきを働いた状況は九項目に分けられて立証され署内に侵入したのは許可をしたのではなく暴徒が不法に侵入したのであると断じ更に事件ぼつ発当時の国内の共産党の情勢から党勢力の進展ぶりを論じ、法律的見解において首魁は直接間接を問わず多数の動員のために計画立案した、率先助勢は多衆の先頭に立つて暴行脅迫を行つた、不和随行は煽動に従つて単に参加したのだと述べたのちに首魁は情状酌量の余地なく、四時間十分にわたり全被告は有罪であると断じ論告を終り四時五十三分高橋主任検事は求刑を行つた求刑は別表の通りであるが事件当日安斎巡査を殴打し公務執行を妨害した堀川浩吉被告の懲役二年が最高で不和随行に至る迄懲役刑が求刑された、率先助勢に対しては事件当時共産党員であつたがその後脱党、平事件の被告である為に就職も出来なかつたがその苦境を耐え忍んだ、統一組のいたずらに審理の延期を策する公判斗争を非難して分離を申請し更に法廷における被告らの態度もみのがせないことだ、又不和随行に対してはその行為は軽微でありいずれも改心の情も認められるから執行猶予の判決が至当と思われると述べて五時十分閉廷、次回の弁護人の弁論と被告の最終陳述は十七、十八の両日午前十時から行われる

卒先助勢十五名

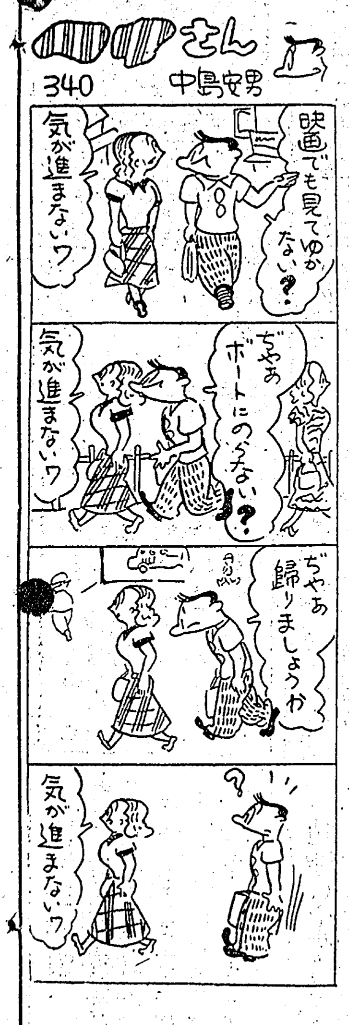
被告名	年令	求刑
堀川 浩吉	22	懲役二年
佐藤 進	22	〃一年六月
渡辺 一男	23	〃一年六月
佐藤 運三	18	〃一―二年
丹 保	20	〃十月
佐藤 一	24	〃一年
宮崎 昭	22	〃十月
平栗 好男	19	〃一年
宮崎 一三	25	〃一年
菅野 三春	20	〃一年
伊達 重春	31	〃一年
中村 中	18	〃一―二年
桐生 辰夫	22	〃十月
北村 栄典	19	〃一―二年
渡辺 安巳	21	〃一年

附和隨行十四名

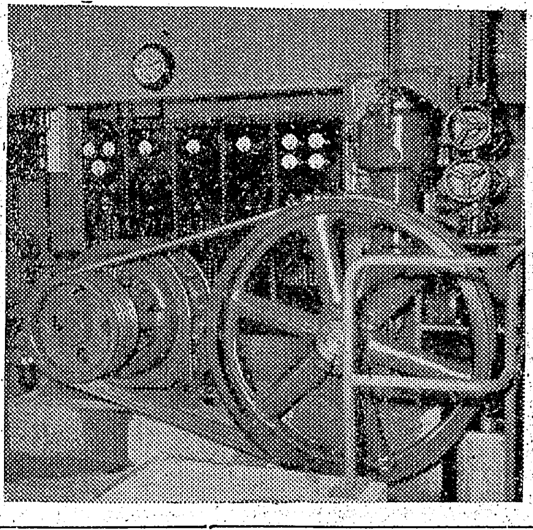
被告名	年令	求刑
引地 正	21	懲役四月
門馬 八郎	26	〃四月
伊藤菊太郎	39	〃六月
大塚 好夫	29	〃四月
齊藤 直明	22	〃八月
菅野 春治	26	〃八月
遠藤 弘	24	〃六月
清野 誠助	23	〃四月
小野農武夫	30	〃六月
樋渡 一郎	25	〃八月
阿部 浩三	21	〃八月
佐藤 慶助	27	〃八月
中村 堅作	24	〃八月
船山 義秋	27	〃四月

平市表彰
縣知事から

平市は八日県から二十六年度赤十字募金並に二十五年度国民扶け合い共同募金の成績が優秀だつたので大竹県知事、県共同募金委員会からそれぞれ表彰された


さん
340
中島安男
映画でも見てゆかない？
気が進まないワ
ぢやァボートにのらない？
気が進まないワ
ぢやァ帰りましょうか
?
気が進まないワ

日産十二トンの
製氷工場完成
あす小名濱で落成式



小名浜機船底曳網漁業協同組合（組合長田島繁夫氏）では本年五月以来小名浜町栄町三に製氷工場を新築中だつたが去月三十日完成したので十二日午前十一時より同町辰巳町ハトバホールで落成式を挙行する、同工場は製産能力日産十二トン、建百六十二坪、大谷石蔵造りで機械室（五十馬力モーター一基）冷気室、砕氷室（二馬力モーター一基）製氷室（三十九坪三）である、建築施行者は馬上建設株式会社＝宇都宮市西原町二九〇、製氷機械設備施行者は株式会社中須製作所＝東京都千代田区丸ノ内三菱仲十四号館三号、製氷工場関係の工費千七百万円、なお併設の冷蔵、凍結室建設工事は十月末完成の予定（写真は完成した製氷工場の内部）

氷値上げ

小名浜漁協並びに底曳両組合で組織する製氷対策委員会ではこの程氷の価格を次の通り改正した、カツコ内は旧価格

▼漁業用、三十六貫匁、二七〇円（二〇〇円）▼一般用、三十六貫匁、三〇〇円（二〇〇円）▼一貫匁売り、一五円（一〇円）

早坂孃優勝
全國大會へ

第二回県下歌謡コンクールは八日午前九時から福島市第一小学校講堂で開かれ県下各地区から参加した三十七名のノド自慢が覇を競つたが石城地区から出場した湯本町の早坂令子（一七）さんが得意の〃水色のワルツ〃を歌つて第一位を占め十月四日東京神田共立講堂で開かれる全国大会への出場権を獲得した

レール泥　植田町小名田四無職峰田某（一七）は去年十一月頃から前後七回に亘り小名浜臨港鉄道小名浜駅構内からレール十四本（五千六百円相当）を盗み更に去る六月二十三日ごろ小名浜町中明神町六木炭業飯塚保男さん方で同町本町米沢寛さんから頼まれて来たと木炭十俵（二千六百円相当）を詐取したことが判り八日小名浜町署から書類送検

平事件を顧みて
（下）
渡邊 一

而し斯るマルクス主義信奉の共産主義も矢張り『理想の社会』の像を示さざるを得なかつた、それは変革後の社会が従来の社会と比較して善か悪か判断しなければ変革運動の意味を為さないからである、そこでエンゲルスも未来の理想社会を『自由の王国』として描いたのである、それは私有財産なき社会に於ては資本家の労働者搾取もなく各人が能力に応じて働き必要に応じて消費する自由の王国というのである、そして彼等は此の『自由の王国』の理想理念を恰も党の一手販売の如く宣言している、共産主義者のみならず古来の社会思想家の抱いた理想は総べて此の『自由王国』の理想であり搾取と不自由と斗争を理想理念として説いた人は居ないのである、人間として誰もが自由の王国を理想として夢見ないものはないであろう、共産主義思想の基盤に立つ社会主義国家ソ連の現状は如何であろうか、果して其処には理想に満ちた自由の王国なるものが存在するであろうか、此事は最近ソ連より帰還した多数の日本人に依つて明かにされている如く矛盾に満ちた理想に反した現実のみしか存在していない、マルクスは『人の意見欲望は物の反映であり、ロゴス（理論）に依り存在があるのではなく存在がありその中にロゴスがあるのだ』と主張する、然し吾々は先ず物を判断するのに何等かのロゴス（理論）に依らなければならないのであつて論理を前提としなければ何等の存在も認められないのである、吾々は常に高き処に理想社会を求め此の雄大な理想を求めては現実社会に存する矛盾を相互に理性と道徳に訴えて解決しながら一歩々々理想への実現に努力しなければならない

現実主義と理想主義、これは永遠の二律背反である、吾々には何れの道を歩まなくてはならないかその選択は吾々の自由である『歴史は繰返す』古代ギリシヤの社会思想家たるソフイストの現実主義とソクラテス、プラトンの理想主義が二千数百年も経た今日、敗戦日本に再生しその批判の自由を国民の個々に委せている、マルクス主義信奉の共産主義者達よ迷う事勿れ、良心に逆う事勿れ、良心の命ずるがまゝに正義と真理を基礎とした理想社会の建設に一歩々々道徳的な歩みを続けようではないか

（平市署勤務）

ラジオ　JOCP　JOHQ　ローカル平放送（12日）

前七・一五・あぜみち通信『電力を利用する畑作経営』矢吹農改指技師松井
前一〇・二〇　夏休ラジオクラブ　若松市行仁小児童
後二・〇五　夏休ラジオクラブ　[illegible]女高生徒
後五・二〇　子供の時間『姉弟』郡山第三中生徒
後六・四五　ふるさと物語（二十夜）郡山放送劇団

秋冬向　婦人服
毎度御好評を頂くなかやの婦人服　秋の流行いろいろ取揃えました
なかや
平三
電203

平市　飯野八幡神社　大祭

◉九月十四日
午前　神輿市内渡御
正午　講和條約調印奉告祭
午後　やぶさめ　浪曲奉納
夕六時　宵祭
夜七時　余興（日本ばやし　浪曲　万才　漫談　舞踊　手品　百面相など）

◉九月十五日
午前　揚土より神輿渡御
　たかつき保育園遊戯會
午後　やぶさめ　神子舞奉納
一時より　子供樽御輿
　稚兒行列市内行進
夕七時より．映畫會
夜八時より　假装懸賞
　豊年踊（盆踊）

▼稚児と仮装踊の申込みは社務所へ
▼稚児は衣裳代、写真代、記念品代、御守などを含み会費五百円
▼お申込みは平市八幡小路　電四四四へ

八幡様のお祭には
祝太鼓（オモチヤタイコ）を
お買上げ下さい
◎例年の通り八幡様で出張販売いたします
佐藤太鼓店
平市六丁目　電四八三

東寳超特作
海賊船
怒濤逆巻く南支那海に暴れ海賊！これぞ海洋現代劇のスペクタル豪壮篇！
三船敏郎
淺茅しのぶ（宝塚）
大谷友右衛門
『佐々木小次郎の』巨匠稲垣浩演出
12日より大公開
ひかり座

耳鼻科
咽喉科
高柳醫院
高柳博明
平駅前（電一一二）

講和條約を記念し
斯界の黎明
平注文紳士服1952年型
オーダーメード
展示會
日時　9月15日より16日まで
会場　平市マルトモホール
主催
福島県洋服商協同組合
平洋服商工会
後援
東京都一流毛織専業商

[illegible]

御婚禮家具
調度品 陳列中！
和洋タンス　鏡台
針箱　茶ダンス
テーブル　其ノ他
家具の御用命は…
自家製造元の家具専門店
平市新川町　電464
伊東家具店
製作工場　大町　伊東工業ＫＫ
募集　和洋家具製造工員　数名
市内居住者又ハ通勤可能者